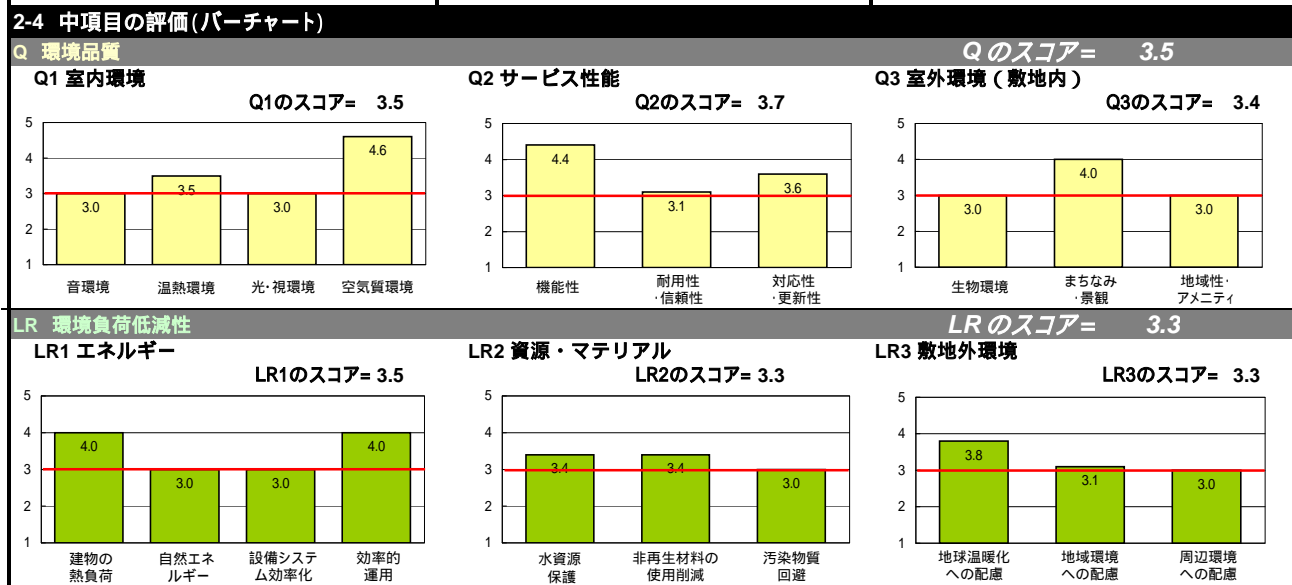
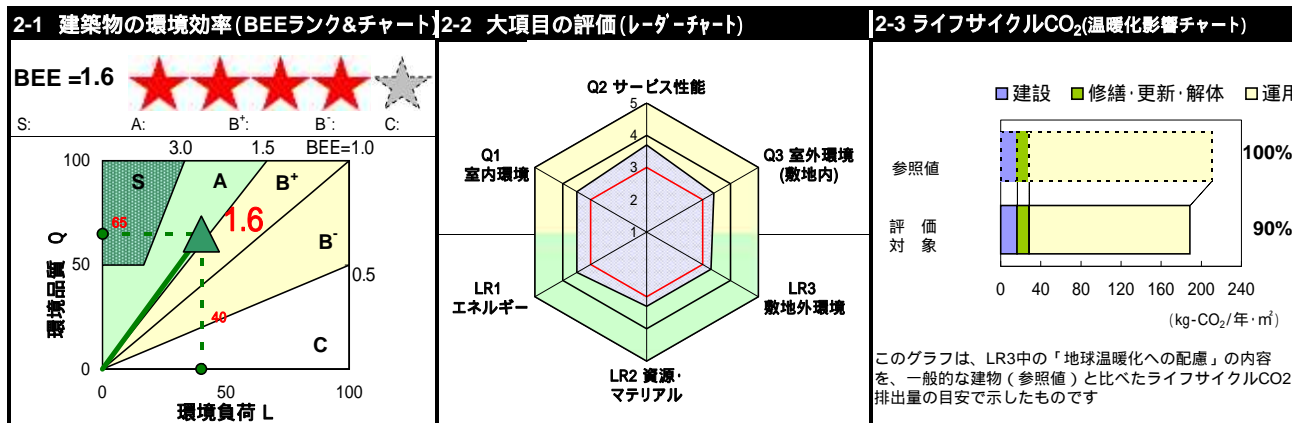


# CASBEE® 新築[簡易版]

# 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	イオン大和ショッピングセンター新築	階数	地上3F 地下1階 PH1階
建設地	神奈川県大和市	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	0人
気候区分	地域区分	年間使用時間	5,110時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年3月 予定	評価の実施日	2010年4月8日
敷地面積	15,367 m <sup>2</sup>	作成者	前田 学
建築面積	10,711 m <sup>2</sup>	確認日	2010年4月8日
延床面積	41,172 m <sup>2</sup>	確認者	須田隆生



### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
総合設計により公開空を設け、メインエントランス部を街角広場とする。	0
<b>Q1 室内環境</b> 売り場の天井高さを1F: 4500、2-3F: 4000を確保し開放感のある室内空間を設計した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 地表意外に壁面、屋上に緑地を設けヒートアイランド抑制に配慮している。
<b>LR1 エネルギー</b> ソーラーパネルによる自然エネルギー利用を行っている。ナイトバージシステムを導入し、エネルギー負荷削減を行っている。	<b>LR3 敷地外環境</b> ピロティにより日影スペースを設け温熱効果削減を行っている。ゴミの分別回収のためのスペースを設け負荷低減を行っている。
<b>Q2 サービス性能</b> トイレ、あかちゃん休憩室、喫煙所など買い物客へのわずらわしさをできる限り和らげる配慮を行っている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 防水材、インターロッキングに再生材料を使用し資源の再利用を行っている。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたし